

ネットワーク化による女性農業者の活動支援

■ 若手女性農業者、中讃農業女子ネットワーク ■

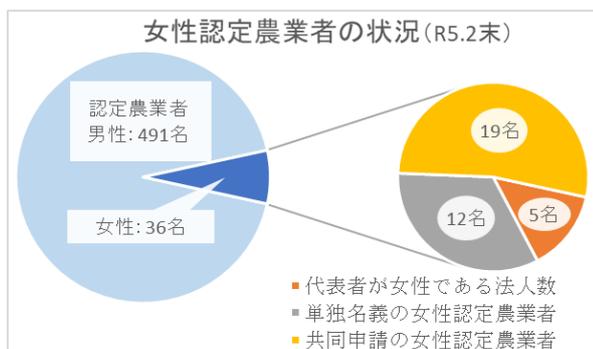
(中讃農業改良普及センター 西田美晴、○中田礼子)

●対象の概要

中讃管内では、基幹的農業従事者の約50%を女性が占め、39名の女性の認定農業者が活躍している。

また平成30年には、中堅となる女性農業者を中心に、仲間との研鑽や交流活動の広がりを目指した「中讃農業女子ネットワーク」が設立された。

さらに近年では、認定新規就農者の女性比率も高まっている。



●課題を取り上げた理由

普及センターでは令和3年度から「輝く！香川の農業女子応援事業」に取り組んでおり、認定農業者への育成を主眼に置いた意欲的な女性農業者の掘り起こしや課題解決支援を行っている。

その支援策の一つとしてネットワーク化を推進しているが、仲間同士の情報交換や交流の場を望む声が多い一方で、組織化には消極的な意見も多い。近年は新たな組織の設立はなく、既存グループにおいては会員の固定化も問題となりつつある。

女性農業者の能力発揮につなげるため、情報交換の場への積極的な参加を促し、各人の経営参画状況や、技術の習熟度合いに応じた課題解決の支援に努めているところである。

●普及活動の経過

1 対象者の掘り起こし

対象者は、認定農業者、認定新規就農者を中心に、経営主及び経営の構成員として農業を担う50

歳までの女性農業者とした。

さらに研修への呼びかけは、新規就農者や相談者など学ぶ意欲のある者を積極的に案内することとし、研修参加者から周囲の女性農業者を紹介してもらうことで働きかける対象を増やしていった。

このほか、女性が働きやすい環境づくりの一手法である家族経営協定の作成を契機に、参画する家族員の意識啓発や、女性の研修への参加要望などを聞き取ることで参加誘導し、新たな人材の発掘を図った。

2 研修会・現地研修の開催

経営能力や意欲の向上とともに、女性農業者がつながる交流の場として研修会を実施した。

対象者の実態や課題、ニーズを捉えるため、アンケートや個別巡回での聞き取りにより、共通課題を探り出すように努めた。

表-1 研修会・現地研修の開催の内容

令和3年 7月21日	講演・演習 「食品衛生法の改正について」 (社)香川県食品衛生協会 松本 幸三氏
令和4年 8月5日	講演・実習 「健康に農作業を行うために」 健康運動指導士 坂本 真一氏
11月2日	講演・演習 「初めての労務管理」 社会保険労務士 田中 亜紀氏 情報提供 「6次産業化の取組み」 ハルハルファーム 塩田 薫氏
令和5年 9月29日	講義・実習 「県産の花を盛り上げていくために」 (株)小豆島凜菊 藤本 悠子氏 現地視察 「実都農園」 向井 愛氏、亮二氏
令和6年 1月17日	講演 「農家女性にも学んでほしい“暮らしに 役立つ金融・経済に関する知識”」 香川大学経済学部准教授 海野 晋悟氏

3 ネットワーク化への意識の醸成

令和5年度の研修会は、管内に点在する女性農業者が知り合うきっかけ作りとして開催した。9月には、他地域の女性グループとの交流を行い、ほ場を視察するとともに農業との関わり方や仲間づくりについて情報交換を行った。

また、1月には女性の資産形成や生活設計などを課題に専門家による講義を行った。



女性農業者グループとの視察交流

受講生によって農繁期が異なるため、時期により参加が困難な者もあったが、参加者が研修を通して自らの課題に気づけるよう促した。

また、積極的に意見や質問を出し合うことで、仲間と学び合う楽しさが実感できるよう工夫し、ネットワーク化への意識の醸成と自らの資質向上に向けた意欲の高揚を図った。



研修会の様子

4 女性農業者ネットワーク活動の支援

グループ活動支援にあたっては、女性農業者の主体性を活かすよう心がけている。

中讃地区で活躍する「中讃農業女子ネットワーク」は、経営者としてのスキルアップと地域活動の実施を目的に、令和4年度より補助事業を活用してマルシェ出展を開始した。



さぬきマルシェでの出展

さらに令和5年度は「放課後児童クラブ」の農家講師として、農業の魅力を発信するなど

活動の場を広げたため、食育活動の企画・実践に向けた勉強会を支援した。

また、グループ活動に関心がある農家女性の新規加入を推進するため、マルシェ出展に際しては、会員以外からも農産物の販売希望者を受け入れ、賛助会員として交流することで、徐々にグループ活動への加入を促し、新たな参加者・会員が獲得できるよう支援した。

●普及活動の成果

1 研修会への誘導と交流の活性化

研修では、できるだけ参加型の取組みを増やしたことで、世代を超えた交流や課題解決手法の交換が活発に行われた。

また、中讃農業女子ネットワークと連携し、個別訪問や呼びかけを密に行ったことで、これまで参加していない若い世代の参加者が増えたことから、新たな人材発掘には個別の案内や対応が重要であると認識できた。

現在は受講者自身が知り合いに声掛けするなど、掘り起こしの輪が広がっている。

2 「中讃農業女子ネットワーク」活動の拡大

本年度は、20代の新規会員が2名加入し、11名の会員が活動している。

また、活動をSNSに投稿することで、活躍している女性農業者の認知度が向上した。農業関係者以外のつながりも得られ、新たなイベント出展を依頼されるなどますます活動の幅が広がっている。

●今後の普及活動の課題

研修で学んだ内容は、経営品目やライフステージ等により、すぐには実行できないことも多く、短時間で目に見える成果は表れにくい。このため引き続き研修等を通じてつながりを保ちつつ、仲間作りとスキルアップ、対象者個々の課題解決につなげるための助言等を行い、女性農業者の活動支援を進める必要がある。

また、グループ活動に興味はあるが、踏み出せない女性農業者に対しては、交流の場へ誘導する。同じ悩みや目標を持つ女性農業者同士が、日頃抱えている農業への思いを語り合い、仕事の励みにつながるような交流となるよう支援したい。

また、ネットワーク会員に対しては、身近な先輩女性農業者として、就農希望者に経営や地域農業に関して助言するなど新たな活躍の場面を設定し、地域活動を充実できるよう導いていく。